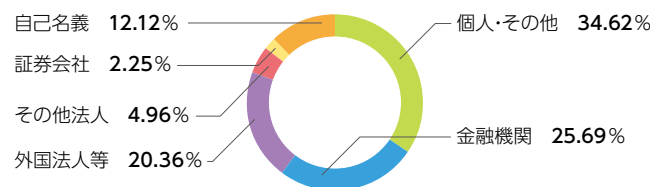


株式情報

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式総数	53,438,322株
株主数	11,226名

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日 ※第42期は4月1日～12月31日までの9か月間
株主確定日	● 定時株主総会、期末配当金:12月31日 ● 中間配当金:6月30日
定時株主総会 株主名簿管理人 同連絡先	毎年3月 みずほ信託銀行株式会社 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-288-324 (通話料無料)
特別口座の管理機関 同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都府中市日鋼町1-1 新東京郵便局私書箱29号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所 公告の方法 (公告掲載URL)	東京証券取引所 市場第1部 証券コード:6143 電子公告により行う http://www.sodick.co.jp/ir/f.html ※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。

大株主

株主名	名寄株式数(株)	持株比率(%)
株式会社ソディック	6,477,290	12.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,252,200	7.96
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,689,600	3.16
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	1,580,000	2.96
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	1,212,100	2.27
古川 利彦	1,195,975	2.24
ソディック共栄持株会	1,012,400	1.89
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,002,400	1.88
株式会社三井住友銀行	850,000	1.59
有限会社ティ・エフ	850,000	1.59

株式に関するお手続きについて

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)へお問い合わせください。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いができませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座管理機関である左記三菱UFJ信託銀行連絡先にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行、みずほ銀行、みずほ証券の各本支店でお取り扱いいたします。 ※みずほ証券ではお取次のみとなります。

「単元未満株式買増、買取制度」を実施しております。

制度の利用の問い合わせについては、単元未満株式が記録されている口座によって窓口が異なります。詳細は以下の窓口までお問い合わせください。

- 単元未満株式が記録されている口座が証券会社の口座  
→ 口座を開設している証券会社
- 単元未満株式が記録されている口座が特別口座  
→ 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL 0120-232-711 (通話料無料、土・日曜、祝日を除く9:00～17:00)

配当金の口座振込指定のご案内

現在、郵便局で「配当金領収証」と引き換えに配当金を受領されている株主様は、「銀行口座等への振込」を指定されますと、支払開始日に指定の口座に配当金が入金され非常に便利です。配当金の口座振込のお手続きがお済みでない株主様におかれましては、口座のご指定をされることをおすすめいたします。振込指定の詳細及び手続きにつきましては、右記の窓口までお問い合わせください。

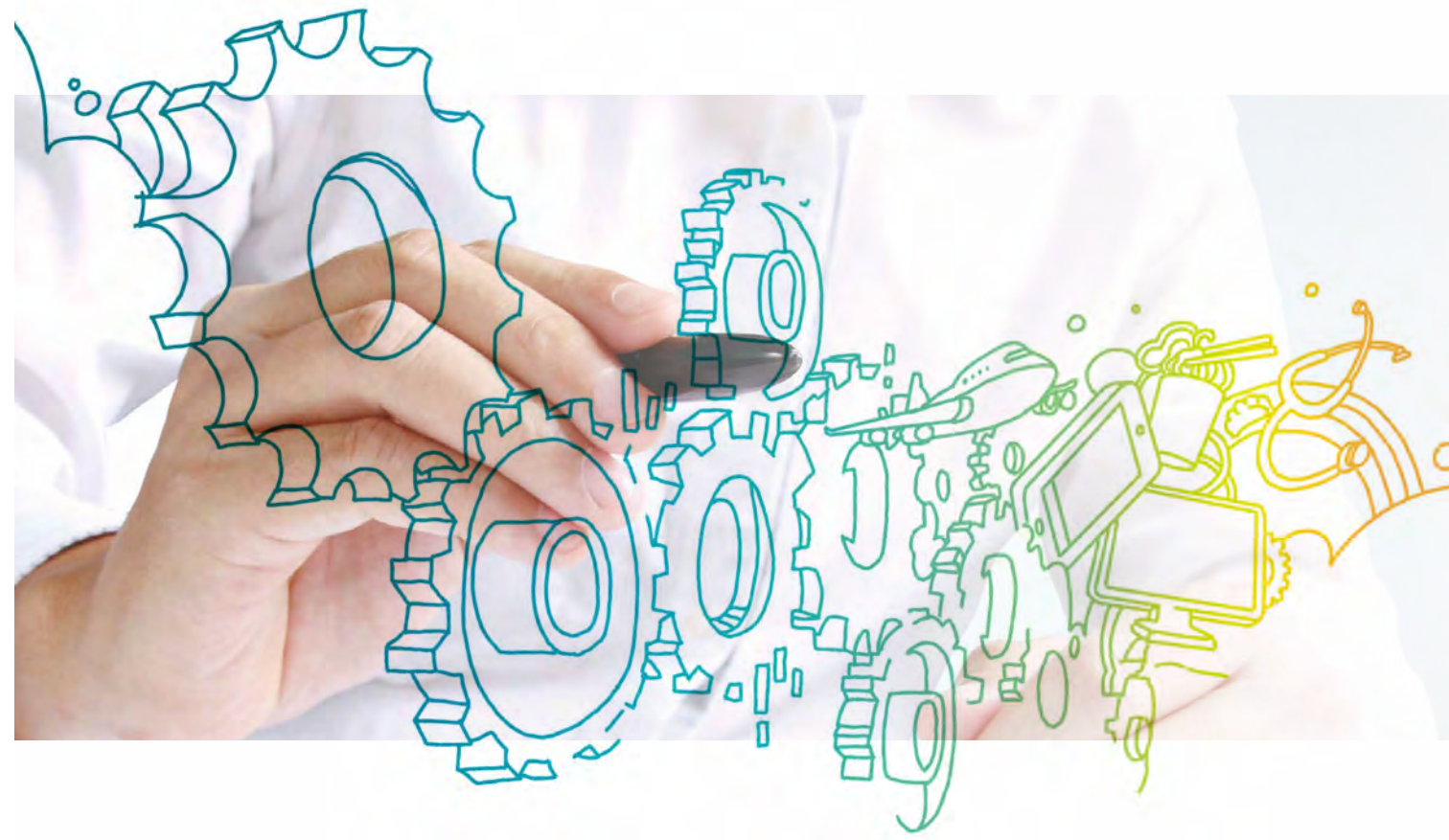
- 証券会社に口座をお持ちの場合  
→ 口座を開設している証券会社
- 証券会社に口座をお持ちでない場合  
→ 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL 0120-232-711 (通話料無料、土・日曜、祝日を除く9:00～17:00)



2017年12月期(第42期)中間報告書  
2017年4月1日～2017年9月30日

特集

独ハノーバーで開催の世界最大級の工作機械見本市「EMO HANNOVER」に出展  
積層造形装置やインダストリー4.0など  
最新技術に業界の注目集まる



# 新たな価値を創造し、 持続的成長を目指します

## 2017年12月期第2四半期の業績について

国内では3月に採択されたものづくり補助金が後押しとなり、自動車、スマートフォン関連を中心に受注・売上ともに堅調に推移しました。海外では、北米は前期まで好調だった自動車、航空宇宙、医療機器関連に一服感が見られました。欧州では、ロシア、トルコ等では厳しい状況が続きましたが、ドイツ、イギリス、イタリアを中心に自動車、航空宇宙関連から堅調な需要が見られました。中国ではものづくりの高度化及び自動化対応等の影響を受け高精度機の需要が拡大していることに加え、政府の補助金政策

も後押しとなり高水準の受注が継続いたしました。アジア地域においても自動車、スマートフォン、半導体関連などで回復基調に推移しました。当第2四半期の業績につきましては、中華圏での高水準な受注・販売が牽引となり、売上高424億8百万円、営業利益42億6百万円と期初計画を上回る水準で推移しました。

## 通期業績見通しについて

米国政権の政策や欧州の政治情勢、北朝鮮情勢の緊迫化などに対する懸念はあるものの、足元では受注状況が堅調に推移していること、第2四半期の業績等を踏まえ、通期

業績予想を上方修正いたしました。売上高は605億円、営業利益は60億円と期初計画を上回る見通しです。

(単位:百万円)

	通期業績予想 修正前	通期業績予想 修正後	増減額
売上高	55,800	<b>60,500</b>	4,700
営業利益	5,300	<b>6,000</b>	700
経常利益	5,200	<b>6,300</b>	1,100
当期純利益	3,700	<b>4,300</b>	600

## 配当について

当社は、DOE (株主資本配当率) 2%以上を目標とした安定的かつ継続的な配当を実施するとの基本方針に基づき、当期の中間配当は1株につき10円とさせていただきます。期末配当につきましては、10円(年間20円)を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

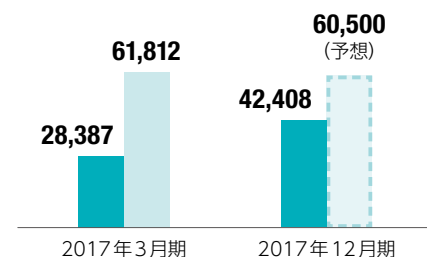
代表取締役社長  
金子 雄二



## ■ 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)

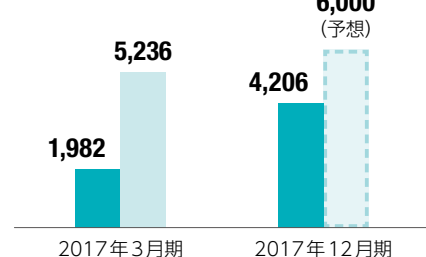
### 売上高

■ 第2四半期累計 ■ 通期



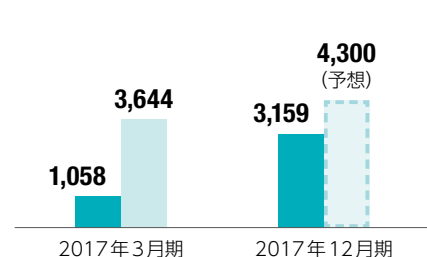
### 営業利益

■ 第2四半期累計 ■ 通期



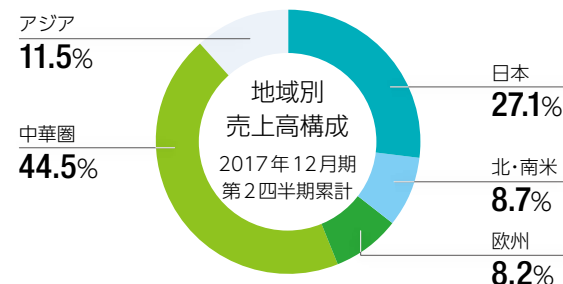
### 親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益

■ 第2四半期累計 ■ 通期



※ 2017年12月期は事業年度変更に伴い、9か月の変則決算となります。

## 地域別の売上高構成



## 2017年12月期 第2四半期の連結対象期間

	2017年3月期				2017年12月期			
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
3月決算会社	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	
12月決算会社	6か月				6か月			
	6か月				9か月			

※ 12月決算会社は、中国の連結子会社7社です。

独ハノーバーで開催の世界最大級の工作機械見本市「EMO HANNOVER」に出展

# 積層造形装置やインダストリー4.0など 最新技術に業界の注目が集まる

## 世界中の主要企業が集まる 国際金属加工見本市に出展

当社は、2017年9月18日～9月23日、ドイツ・ハノーバーで開催された国際金属加工見本市「EMO HANNOVER 2017 (エモ・ハノーバー)」に出展し、世界初出展の新機種、リニアモータ駆動 高速・高性能 大型ワイヤ放電加工機「ALC800G」をはじめとする最新鋭の機種を展示いたしました。

「EMO」は、2年に一度、ドイツ・ハノーバー、またはイタリア・ミラノで開催されている世界最大級の工作機械展示会です。今回のEMOには、45か国・地域から2,187社が出展、工作機械の最新トレンドを把握するため、全世界か

ら約13万人が来場するなど、世界的な注目度の高さが窺われる国際展示会となりました。

EMOは購買目的の来場者が多いのが特徴で、会期中の取引成立額は80億ユーロに上ると見込まれています。

今回の開催では、世界中で注目を集めているインダストリー4.0への対応に関する展示に加え、三次元積層造形装置関連の展示も増加、金属積層、切削、焼き入れが1台で可能な製品や、大型部品の加工にも対応可能な製品の展示が目立ちました。

また、ロボットの活用や、工具・工作物関連の自動化システムとの連携によるスマート化を意識した展示や、多軸・複合工作機械の展示が引き続き増加し、複合機能のラインナップも多岐にわたるなど、工程集約のニーズの高まりが窺われました。



ALC800G 展示エリア



EMO HANNOVER 2017 当社ブース

## 世界各国からの来場者に 次世代のものをづくりをサポートする 最新技術を提案

ソディックブースでは、欧州にて需要拡大が見込まれる自動車、航空宇宙、医療機器産業向けを中心に多彩なソリューションを提案するとともに、世界初出展機種の「ALC800G」、「VL600QH」をはじめとする最新鋭の機種を展示いたしました。また、ドイツ政府が推進するインダストリー4.0の動きを踏まえ、生産効率化やロボットを活用した生産自動化など、次世代のものをづくりをサポートする最新技術を訴求しました。また、精密金属3Dプリンタ「OPM250L」の展示エリアでは、実際に機械を稼働させ、1台のレーザーを高速に制御することで、複数箇所を同時に造形できるパラレルモードなどを実演するなど、多くの来場者の関心を集め、多くの引き合いをいただきました。

### <EMO HANNOVER 2017 概要>

会期 2017年9月18(月)～9月23日(土)  
開催地 ドイツ・ハノーバー  
来場者数 約13万人  
出展社数 2,187社(日系84社)  
※ 当社出展機:ワイヤ放電加工機「ALC800G」「VL600QH」、  
金属3Dプリンタ「OPM250L」など

Sodick Deutschland GmbH  
President  
Norbert Kempf



## ALC800G

リニアモータ駆動 高速・高性能ワイヤ放電加工機の新シリーズとして開発された「ALC800G」は、自動車関連、電気関連の大型金型や、エネルギー・航空宇宙・自動車関連の大型部品加工分野における高速・高精度・高品位加工を実現しました。先進的な環境対応型工作機械として、独創的なフルカバースタイルによりグローバル規格に準拠しています。



Sodick Europe Ltd.  
CEO  
Peter Capp

新製品

高精度と安定性をベースとし、さらなるハイサイクル成形を実現する  
電動射出成形機「MS50」「MS200」を開発

精密で複雑なプラスチック製品の成形で高い評価をいただいている、V-LINE®方式の射出可塑化装置を電動化したeV-LINEを搭載した「MSシリーズ」の新モデルを開発しました。

2016年11月に先行してリリースした型締力100トンの「MS100」に、より精密な小物成形品に対応する同50トンの「MS50」、自動車部品などのより大きな成形品に対応する同200トンの「MS200」を加え、ラインナップを拡充しました。新興国などのボリュームゾーンをターゲットに、販売拡大、シェア拡大を目指します。



「MS50」

「MS200」

受賞のお知らせ

金属3Dプリンタで造形した金型専用射出成形機「MR30」  
2017年「第47回 機械工業デザイン賞 日本工作機械工業会賞」を受賞

「MR30」が日刊工業新聞社主催の「2017年 第47回 機械工業デザイン賞 日本工作機械工業会賞」を受賞いたしました。

MR30は金属3DプリンタOPMシリーズで造形した、3次元冷却配管内蔵金型の効果を最大限に発揮できる射出成形機です。金型をカセット式に組み込み、金型交換時間が大幅に短縮できるほか、樹脂成形時の冷却効果を最大限に引き出し、プラスチック成形品の成形サイクルと成形品の変形抑制や歩留まり向上を実現します。

精密金属3Dプリンタ「OPMシリーズ」との共通イメージ

獲得に向けたブランド戦略の再構築や、自動カセット金型交換システムの付加、ならびに、成形データの集中管理やIoT対応を視野に入れた開発などで、今後大きな期待を寄せられることができるとの高い評価をいただき、受賞となりました。



「MR30」

当第2四半期の業績について

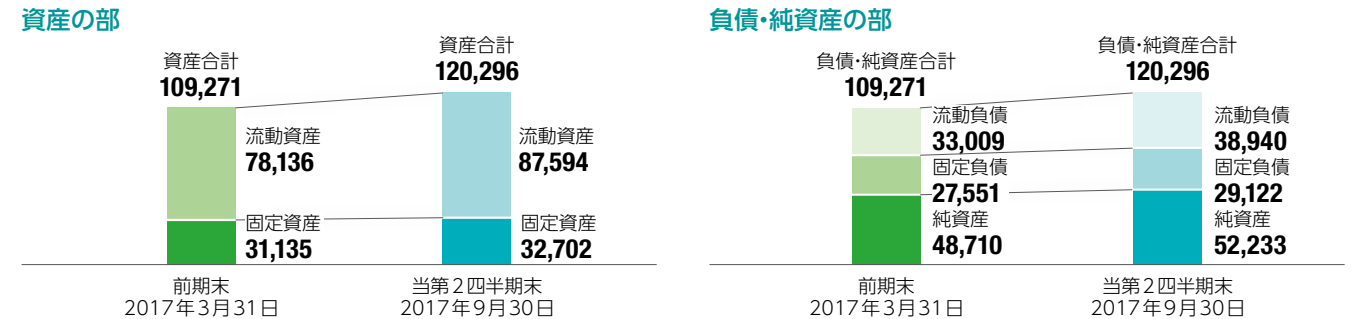
堅調な受注環境の下、業績は国内外ともに好調に推移。  
売上高・各段階利益全てにおいて期初計画を上回る水準で着地。

※ 当期(2017年12月期)は事業年度変更の経過期間となり、連結対象期間が変則的であるため、対前年同期比増減率は記載していません。

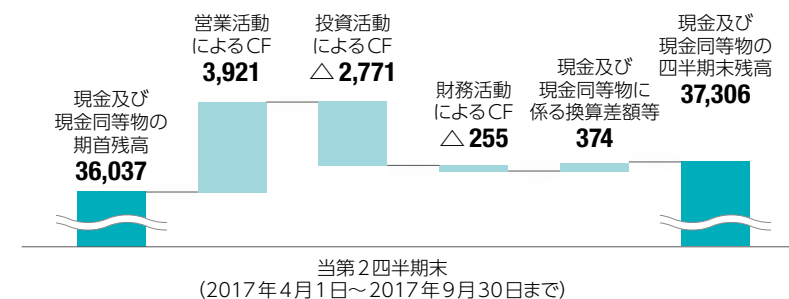
売上高  
424億8百万円

営業利益  
42億6百万円

連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー(CF)計算書の概要 (単位:百万円)



**POINT** B/S:受注台数増加に伴い、売上債権、たな卸資産が増加したほか、物流センター、アメリカの新社屋など固定資産の増加により、総資産は前期末比で大幅に増加(前期末比+110億25百万円)。ネット有利子負債は28億53百万円まで減少しました。

**POINT** 営業CFは売上債権、たな卸資産が大幅に増加したものの、工作機械、産業機械事業の収益改善等により39億21百万円のプラス、投資CFは有形固定資産の取得、関係会社株式の取得等により27億71百万円のマイナス、財務CFは借入金の返済等により2億55百万円のマイナスとなり、現金及び現金同等物の同四半期末残高は373億6百万円となりました(前期末比+12億69百万円)。

IRサイトでさらに詳しく

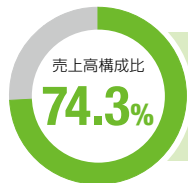
IRサイトでは、決算短信、決算説明資料など更に詳しい決算情報をご覧になれます  
[http://www.sodick.co.jp/ir/ir\\_note.html](http://www.sodick.co.jp/ir/ir_note.html)

ソディックIR

検索



## セグメント別の概況 (単位:百万円)

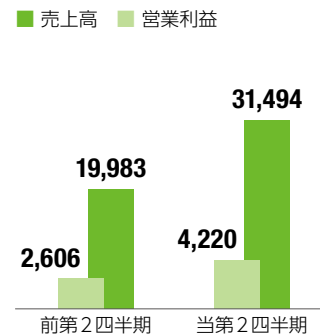


## 工作機械事業

放電加工機、マシニングセンタ、金属3Dプリンタ等の開発・製造・販売

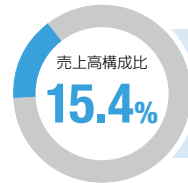
国内外ともに、自動車、スマートフォン関連を中心として、需要が総じて堅調。

国内では、3月に採択された補助金に係る受注が売上増加に寄与したほか、自動車、スマートフォン関連からの受注が堅調となりました。海外では、北米で自動車、航空宇宙、医療機器関連の需要に一服感が見られたものの、欧州では、ドイツ、イギリス、イタリアを中心に自動車、航空宇宙関連を中心に堅調に推移しました。中国では、ものづくりの高度化や自動化対応、中国政府の補助金政策の影響もあり、自動車関連やスマートフォン関連を中心に高水準な受注、販売が継続しています。アジア地域では、タイマレーシアを中心に自動車関連の需要が拡大基調にあるほか、韓国でも半導体やスマートフォン関連からの需要が見られました。



売上高  
**31,494**百万円

営業利益  
**4,220**百万円

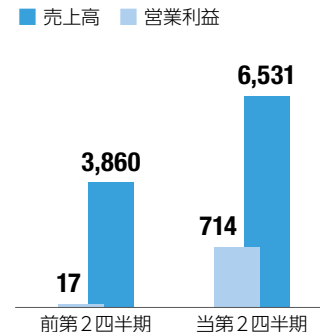


## 産業機械事業

射出成形機等の開発・製造・販売

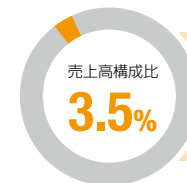
国内の旺盛な需要に加え、中国・アジアからの需要も好調。北米も持ち直しの動き。

国内では車載用部品、スマートフォン用光学レンズ等高付加価値部品向けの需要が旺盛だったほか、自動車用大型部品向けに大型成形機の需要も見られました。海外では、北米で医療機器・自動車関連の需要は持ち直しの動きが見られ、中国、アジア地域では、スマートフォン及び車載カメラ用光学レンズの成形や防水対応用シリコン成形の需要が好調に推移しました。



売上高  
**6,531**百万円

営業利益  
**714**百万円

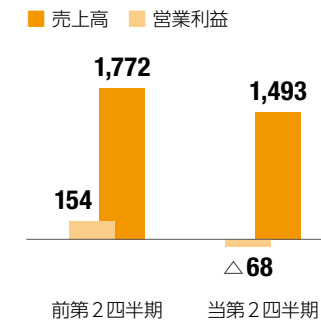


## 食品機械事業

麺製造プラント、製麺機等の食品機械及びその応用製品の開発・製造・販売

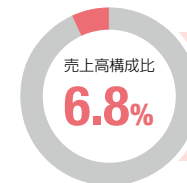
継続した需要により、受注及び納入は計画通りに推移するが、検収が下期にずれ込み、業績は下振れ。

国内では、コンビニエンスストア等及び外食チェーン店向けを中心に、高品質な調理麺の製造設備が引き続き堅調。健康志向の高まりによる豆腐麺等ユニークな麺製造や米飯の炊飯装置への需要も見られました。海外でも、ロングライフ麺や米飯の炊飯装置等への需要が見られました。受注及び納入は概ね計画通り順調でしたが、平均単価が比較的大きい当事業において、複数の案件で検収が3Q以降にずれ込んだため、売上高は通期計画に対して低調となりました。新製品の立ち上げコストがかさみ、営業利益は68百万円の赤字となりました。



売上高  
**1,493**百万円

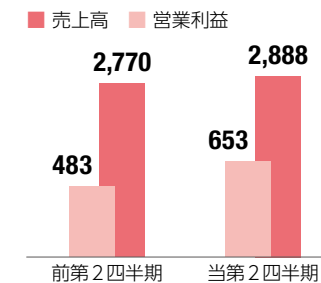
営業利益  
**△68**百万円



## その他事業

プラスチック成形品等の製造・販売、リニアモータ応用製品、セラミックス製品及びその制御機器、LED照明等の開発・製造・販売、当社製品等のリース

精密金型・精密成形事業は、引き続き自動車関連から旺盛な需要があったほか、活況な半導体装置向けにセラミックスの販売も堅調に推移しました。



売上高  
**2,888**百万円

営業利益  
**653**百万円

IRサイトでさらに詳しく

IRサイトでは、決算短信、決算説明資料など更に詳しい決算情報をご覧になれます  
[http://www.sodick.co.jp/ir/ir\\_note.html](http://www.sodick.co.jp/ir/ir_note.html)

ソディックIR

検索





当社は、株主・投資家の皆様との建設的な対話を促進するため、様々な切り口から、わかりやすい情報開示に努め、IRツールの充実を図っています。

### ホームページをリニューアルしました



当社ホームページのデザインを一新し、全面リニューアルいたしました。より多くの方々に当社を理解していただけるよう、ユーザビリティに配慮した直観的なデザインを採用しています。是非ご活用ください。



<https://www.sodick.co.jp/>

スマートフォンの方はこちらから



### 決算期変更に係る配当金のお支払いについて

当社は2017年6月に開催された第41回定時株主総会において、決算期を3月から12月へ変更することを決議いたしました。これにより配当基準日及び配当金のお支払いは、右図のように変更となりますのでご了承ください。

#### 決算期変更に係る配当金のお支払いについて

( )内は、配当金のお支払い予定月

配当	変更前	変更後
■ 2017年12月期(2017年4月1日～12月31日)		※9か月の変則決算となっております。
中間配当	2017年9月30日(12月)	2017年9月30日(12月)
期末配当	2018年3月31日(6月)	2017年12月31日(3月)
■ 2018年12月期以降		
中間配当	毎年9月30日(12月)	毎年6月30日(9月)
期末配当	毎年3月31日(6月)	毎年12月31日(3月)

### IRスケジュールの変更について

決算期変更に伴い、来期以降の決算発表、株主総会等のIRスケジュールが変更となります。

#### 年間スケジュール

(※スケジュールは予定であり、変更になる可能性があります。)

2017年12月期						2018年12月期																	
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
		● 定時株主総会 事業報告書			● 第1四半期 決算発表			● 中間報告書			● 定時株主総会 事業報告書			● 第1四半期 決算発表			● 中間報告書			● 第2四半期 決算発表			● 第3四半期 決算発表

## 拠点情報 / 会社情報 (2017年9月30日現在)

### 世界に広がる主要拠点

本社 生産拠点 開発拠点 販売・サービス拠点

- 加賀事業所
- 福井事業所
- 宮崎事業所
- 本社/技術・研修センター
- 韓国 Sodick Korea Co., Ltd.
- 英国 Sodick Europe Ltd. (U.K.)
- ドイツ Sodick Deutschland GmbH (Germany)
- 米国 Sodick America Corporation (San Jose)
- 米国 Sodick, Inc. (Chicago/NJ/L.A.)
- シンガポール Sodick Singapore Pte., Ltd.
- 台湾 Sodick (Taiwan) Co., Ltd.
- 中国 Sodick (H.K.) Co., Ltd.
- 中国 Shanghai Sodick Software Co., Ltd.
- 中国 Sodick Amoy Co., Ltd.
- 中国 Suzhou Sodick Special Equipment Co., Ltd.

### 会社概要

会社名 株式会社ソディック  
所在地 本社  
〒224-8522  
横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号  
TEL:045-942-3111 (代表)

設立 昭和51年8月3日  
資本金 207億7,875万6,958円  
代表者 金子 雄二  
従業員数 690人 (連結3,616人)  
連結子会社 22社  
持分法適用の関連会社 1社

### 役員

代表取締役会長 古川 利彦  
代表取締役社長 金子 雄二  
代表取締役副社長 古川 健一  
専務取締役(上席執行役員) 高木 圭介  
専務取締役(上席執行役員) 松井 孝  
専務取締役(上席執行役員) 藤川 操  
専務取締役(上席執行役員) 佐野 定男  
常務取締役(上席執行役員) 大迫 健一  
常務取締役(上席執行役員) 前島 裕史  
常務取締役(上席執行役員) 塚本 英樹

社外取締役 津上 健一  
社外取締役 栗原 俊明  
社外取締役 古田 勝久  
常勤監査役 保坂 昭夫  
常勤監査役 渡貫 雄一  
監査役 長嶋 隆  
監査役 下山 和人  
監査役 奥山 富夫

※東京証券取引所の定める独立役員であります。